



チーム和歌山！男女総合1,063点、15位!!



入賞おめでとうございます!!

●陸上競技

成年女子	走高跳	井上 七海(株式会社オークワ)	1位(8点)
成年女子	やり投	助永 仁美(株式会社オークワ)	4位(5点)
成年男子	棒高跳	田中 僚(和歌山県教育庁)	6位(3点)
成年男子	10000m競歩	丸尾 知司(和歌山県教育庁)	8位(1点)

●なぎなた競技

成年女子	試合	山本 千代(和歌山県教育庁)	2位(21点)
		山内 綾(県立紀北支援学校)	
		角谷 香織(九度山町教育委員会)	

●ホッケー競技

坂本 博紀(和歌山県教育庁) 清水 大貴(県立耐久高等学校) 戸田 和孝(株式会社松源)
 佐々木 健(紀南県税事務所) 佐々木 康介(株式会社松源) 小澤 浩平(紀美野町教育委員会)
 谷口 直哉(有限会社丸一工業) 江川 佑樹(株式会社松源) 西川 尚裕(湯浅町教育委員会)
 田中 健太(和歌山県教育庁) 北村 貴之(株式会社松源) 松本 匡史(天理大学)
 大西 春輝(日高川町立丹生中学校) 蜂谷 俊幸(有田市立保田中学校) 3位(44点)

●ボート競技

成年女子	シングルスカル	山野 早也香(県立青陵高等学校)	4位(5点)
少年女子	シングルスカル	木下 弥桜(県立和歌山北高等学校)	7位(2点)

●軟式野球競技

高野 匡基(日本赤十字社和歌山医療センター) 古田 光彦(ホシザキ京阪株式会社)
 矢田 浩之(医療法人青松会介護老人保健施設パインドーム) 勝谷 直紀(株式会社湊組)
 川越 彰吾(株式会社湊組) 太田 信彰(県立和歌山ろう学校) 森本 祥太(湯浅町役場)
 作野 裕希(県立南部高等学校) 坂本 直人(株式会社湊組) 古賀 勝大(株式会社湊組)
 太田 智之(太田製麺所) 前田 友輝(紀の川市役所) 池田 展基(湯浅広川消防組合)
 芝本 茂(紀の川市役所) 森本 俊(株式会社湊組) 峯 弘季(紀の川市役所) 8位(8点)

●馬術競技

成年女子 トップスコア 平原 枝里香(ライディングクラブグリーンオアシス) 8位(1点)





選手・監督からのコメント

○井上七海選手(陸上競技:成年女子)

調子が悪く不安でしたが、スタンドにいる和歌山チームの応援の後押しで成し遂げられた結果だと思えます。優勝しましたが、記録はまだまだなので、来年の和歌山国体ではさらに高い記録での2連覇を目指します。

○助永仁美選手(陸上競技:成年女子)

今シーズン前半に結果を残せていなかったのですが、長崎国体で結果を残せて良かったです。今後は、未完成な部分があるので、来年に向けて思い切ってやろうと思います。

○田中僚選手(陸上競技:成年男子)

6位で悔しくもありますが、入賞できホッとしています。来年の和歌山国体では、自他共に満足できる結果を残せるように、これから1年間頑張りたいと思います。

○丸尾知司選手(陸上競技:成年男子)

8位で1点をとることが出来ました、自己ベストを出すことができず、力不足を感じたレースでした。来年の和歌山国体に向けて、さらに厳しいトレーニングを積んでいきたいと思えます。

○貴志香寿監督(なぎなた競技:成年女子)

選手がそれぞれの踏ん張りを見せ、総合優勝する事が出来ました。来年の和歌山国体に向けて、それぞれの課題を克服し和歌山のチーム力で優勝目指し頑張ります。

○山内綾選手(なぎなた競技:成年女子)

2位に入賞でき、大変嬉しく思う反面、自分の実力不足を感じ悔しく思えます。チームに助けられこの結果を出す事ができたので、来年の和歌山国体ではチーム全員で勝利して優勝できるよう、更に心と技を鍛え、精進していきたいと思えます。

○角谷香織選手(なぎなた競技:成年女子)

チーム全員で試合競技2位の結果を獲得でき本当に嬉しく思えます。先生、先輩方、後輩たち、そして九度山町で応援してくれる町民の方々のおかげがある結果だと思えます。しかし、これで終わりではなく来年の和歌山国体優勝に向け技術面、精神面も含め強化し、これからまた頑張っていきます。

○山本千代選手(なぎなた競技:成年女子)

あと1歩およばず、2位でしたが、来年の和歌山国体へ繋がる大会となりました。チームワークの良さを勝ち上がることができました。さらに、心、技、体を鍛え、来年に向けて稽古に励みたいと思えます。

○谷口直哉選手(ホッケー競技:成年男子)

優勝できなくて残念ですが、最低限の結果を残せて良かったです。長崎国体に出場し、国体独特の雰囲気やチームの課題を知ることができました。また、強豪県である愛知県との差は詰まってきました。残り1年しっかり強化し、和歌山国体では優勝します。

○太田美穂監督(ボート競技:成年女子)

現段階では、選手それぞれがベストを出してくれたと思えます。来年の和歌山国体では、頂点を目指して頑張ります。

○山野早也香選手(ボート競技:成年女子)

コースコンディションのおかげで決勝に残れたところもありますが、私自身3年ぶりに得点を獲得できたので嬉しいです。来年はさらに得点を獲得できるように頑張ります。

○金城正明監督(ボート競技:少年女子)

選手達は、本当によく頑張ってくれました。支えてくれた人に感謝し、来年は今年以上の成績を残せるように頑張ります。

○木下弥桜選手(ボート競技:少年女子)

7位という結果になりすごく悔しいです。ただ、今後に繋がるレースができたので、来年の和歌山国体では上位に行けるように頑張ります。

○森正樹監督(軟式野球競技:成年男子)

目指していたものは高かったので、ベスト8という結果は悔しいです。国体で5試合できたのは、よい経験にもなり得るものも多かった。この大会を通じてチームも強くなったと思えます。これを糧に和歌山国体での優勝を目指して練習していきたいと思えます。

○太田智之(軟式野球競技:成年男子)

8位という結果は悔しいです。レベルの高いチームと5試合できたことは、自分達のレベルも分かり、課題も明確になったので良い経験になりました。この課題を克服し、和歌山国体では優勝します。

○平原枝里香選手(馬術競技:成年女子)

上位入賞をしたかったので8位は悔しい結果です。ただ、1点でも和歌山県に貢献できて良かったです。来年への課題だと思って、本番に繋げたいです。





第69回国民体育大会(長崎がんばらんば国体2014)

和歌山県選手団 星総監督 談話

「長崎がんばらんば国体2014」が会期前の水泳競技・カヌー競技のカヌースラローム、カヌーワイルドウォーター(9/11~14)に引き続き、10月12日から10月22日までの計15日間にわたり開催され、本県選手団は、各競技において大いに健闘しました。

今大会は、男女総合成績1220点・第14位を目標にしていました。結果は、1063点・第15位、(女子総合成績は、543.5点・第19位)となり、昨年の東京国体の990.5点、第18位に比べ、72.5点増加し、順位を3つ上げました。

入賞競技数につきましては、24競技44種別92種目となり、前回の18競技37種別75種目に比べ6競技増、7種別増、17種目増となりました。

獲得した競技得点の割合につきましては、個人競技が14競技380点(57%)、対人競技が8競技231点(35%)、集団競技が2競技52点(8%)となり、種別比較では、成年種別28種別434点(65%)、少年種別16種別190点(29%)、共通種別1種別39点(6%)となりました。男女別得点では、男子が419.5点(63%)、女子が243.5点(37%)となっています。

男女総合得点が増加した主な理由としましては、セーリング競技、自転車競技、なぎなた競技が総合優勝するなど実力を十分に発揮した競技があったこと、課題であった女子種別で得点が増えたことなどが挙げられます。

今回活躍した主な競技としましては、セーリング競技で成年女子セーリングスピリッツ級優勝、少年男子シーホッパー級スモールリーグ優勝など92点、自転車競技で男子4km団体追抜競走、成年男子ポイントレース・スプリント、少年男子スプリント・ケイリンの5種目で2位入賞など71点、なぎなた競技で成年女子演技・試合、少年女子演技の3種目で2位入賞など69点、カヌー競技で成年男子カヤックシングル2位入賞など49点、フェンシング競技で少年女子フルーレ優勝など45点、水泳競技で成年女子50m自由形優勝など45点、ホッケー競技成年男子で3位入賞し44点、レスリング競技で成年男子フリースタイル57kg級、86kg級優勝、グレコローマンスタイル75kg級優勝、少年男子フリースタイル74kg級優勝など40.5点を獲得し、総合成績に大きく貢献されました。

今回の長崎国体では、各種全国大会等で実績を挙げながら国体独特の雰囲気によって本来の力を発揮できなかった競技や国体前の練習や試合で怪我をしたり疲労が残るなど調整に課題が残った競技もみられました。県体育協会としましては、来年の「紀の国わかやま国体」で男女総合優勝を果たすため、長崎国体において明確になった課題を県競技力向上対策本部及び各競技団体と連携して解決し、国体選手のサポートをより一層推進してまいります。チーム和歌山一丸となり、天皇杯、皇后杯を獲得したいと思っております。

